

第2次流山市子どもの読書活動推進計画の概要

第1次計画における状況

平成29年度～令和3年度にかけて56の事業を展開

主な成果

- ・学校図書館司書の全校配置を達成
- ・学校図書館での1人当たりの貸出冊数が小学校1,2年生、中学校において増加
- ・子育て関連施設の一施設当たりの平均所蔵冊数が増加
- ・子育て関連施設や中・高等学校において、保護者への啓発活動をしている施設が平成28年から概ね増加
- ・家庭で読み聞かせをしている人の割合が、平成28年度と比較して上昇
- ・学校図書館による地域ボランティアの活用が活発化
- ・ブックセット配置・ブックリスト配布による子育て関連施設への啓発、情報提供の促進 他

<主な実施事業>

- ・専任の学校図書館司書の配置の推進
- ・ブックスタート関連事業「おはなし しゅっぱつしんこう!」の実施
- ・おはなし会の実施
- ・こどもの読書週間でのイベント・展示の実施
- ・年齢別「おすすめの本」リストの作成・配布
- ・講演会、子ども向け科学教室など、各種読書活動推進事業の実施
- ・「どくしょつうちょう」読書手帳の作成・配布・活用
- ・図書館での展示・レイアウトの工夫、キャラクターの活用 他

目標とする指標の達成状況

- 市立図書館における乳幼児対象事業の取組状況 R1 5,549人 (7,200人)
- 学校図書館図書標準の達成状況 R2 小学校 81.3% 中学校 77.8%
- 読書が好きな児童・生徒の割合 R1 小学校児童 76.4% (80%)
R1 中学校生徒 77.9%(80%)
- 小学校・中学校・高校生期における読書の状況 R1 小学生児童 4.5冊(5.0冊)/年
R1 中学校生徒 3.0冊(4.2冊)
R1 高等学校生徒 3.0冊(3.8冊)
- 団体貸出の利用冊数 14,425冊 (16,000冊)
- 子どもの登録者数 8,953人 (15,000人)

()内は目標値

第2次計画における対応

【第1次計画における課題】

- ・学校段階が進むにつれて読書離れの傾向
- ・小・中学校における学校図書館司書の1校あたりの勤務時間が少ない
- ・高等学校・特別支援学校での読書活動が少ない
- ・学童・児童センター・障害者施設での研修の開催・参加が活発ではない
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止策としての休館・休校、行事の縮小による読書活動の機会の減少

基本方針

- 1 子どもの読書環境の整備・充実
- 2 家庭・地域、市立図書館、学校等の連携・協力による子どもの読書活動の推進
- 3 子どもの読書活動に対する理解・関心の向上と普及

おもな目標とする指標(令和8年度)

市立図書館における乳幼児対象事業への参加人数	7,200人
市立図書館の団体貸出における児童書の年間利用冊数	18,000冊
読書が好きな小・中学生の割合	80%
高校生期(16歳～18歳)における読書の状況	3.8冊/年

計画期間

令和4年度
～
令和8年度

おもな計画推進のための取組 - 発達段階に応じた対応と支援(121事業/再掲除く75事業)

家庭・地域における取組

- ・団体貸出やブックセットの活用
- ・ボランティア団体等の協力によるおはなし会の充実
- ・家庭読書の普及
- ・ブックリストの配布・活用、ブックセットの設置

市立図書館における取組

- ・ブックスタート関連事業「おはなし しゅっぱつしんこう!」の実施
- ・LLブック、外国語絵本、電子書籍等の充実
- ・進学や就職に関するコーナーを設置

学校における取組

- ・学習指導要領に対応した図書の購入
- ・学校図書館担当者の業務時間の確保
- ・学校図書館オリエンテーションの実施

保育所(園)・幼稚園における取組

- ・絵本や紙芝居の読み聞かせを行う
- ・研修会への参加
- ・図書館・地域ボランティアとの連携